

第80期中間事業報告書

平成15年4月1日～9月30日

らこんテ



人をむすぶ、街をつなぐ
九州電力

Raconter (ラコンテ)は、フランス語で「語る」「話す」という意味です。

目次

ごあいさつ	1
営業の状況	3
設備の状況	5
CLOSE UP九電	
「オール電化住宅普及に取り組んでいます」	6
「川内原子力発電所における 環境調査を開始しました」	7
中間財務諸表	9
中間連結財務諸表	11
心の旅 in九州	13
九電エコトーク	16
らこんでNETWORK	17
役員・株主メモ・会社の概要	18



表紙の絵

大江天主堂と吉井勇の歌碑
(熊本県天草町)

歌碑の文字／白秋とともに泊りし
天草の大江の宿は伴天連の宿

「心の旅 in九州」(P13)から

作者:竹中俊裕氏

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第80期中間の事業概況をご報告申し上げます。

電気事業におきましては、電力小売の部分自由化により、電力購入を当社から新規参入企業に切り替える動きが拡大する一方、分散型電源が普及しつつあります。また、電気事業法の改正により、自由化の対象が来年4月から500kW以上、さらに1年後には50kW以上のすべての高圧のお客さまへと拡大され、電力市場における競争は一層激化することが予想されます。一方、こうした環境変化に伴い、電気事業に対する資本市場の評価もより厳しさを増しております。

このような状況のもとで、当社は、価格、品質、サービスなどあらゆる面における競争力の強化と財務体質の一層の改善、新たな収益基盤の確立などを重点課題として、全社を挙げて経営改革に取り組んでおります。

具体的には、設備投資や修繕費の効率化目標を引き上げるなど、経営効率化への取り組みを一段と加速し、価格競争力を強化してまいります。また、営業力強化の観点から、お客さまの多様なニーズや課題を的確に把握し、解決策を

提供する「トータルソリューション営業」を積極的に展開してまいります。

さらに、これまでに培ってきた技術やノウハウなどの強みを活かした新規事業の推進により、九電グループの収益力の強化を図ってまいります。

同時に、電力の安定供給や環境保全など、公益的課題の達成にも引き続き取り組みます。その柱となる原子力発電につきましても、今後とも安全運転に最大限の努力を重ねつつ、新規開発に取り組んでまいります。本年10月には、増設の検討を行うために川内原子力発電所における環境調査を開始いたしました。

また、コンプライアンス経営への取り組みを強化し、情報公開を積極的に推進することにより、これまで以上に透明性の高い公正な事業活動に努めていく所存であります。

当社といたしましては、今後ともお客さまはもとより、株主や投資家の皆さまから信頼され、選択される企業を目指してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月



代表取締役
社長

松尾新吾

営業の状況

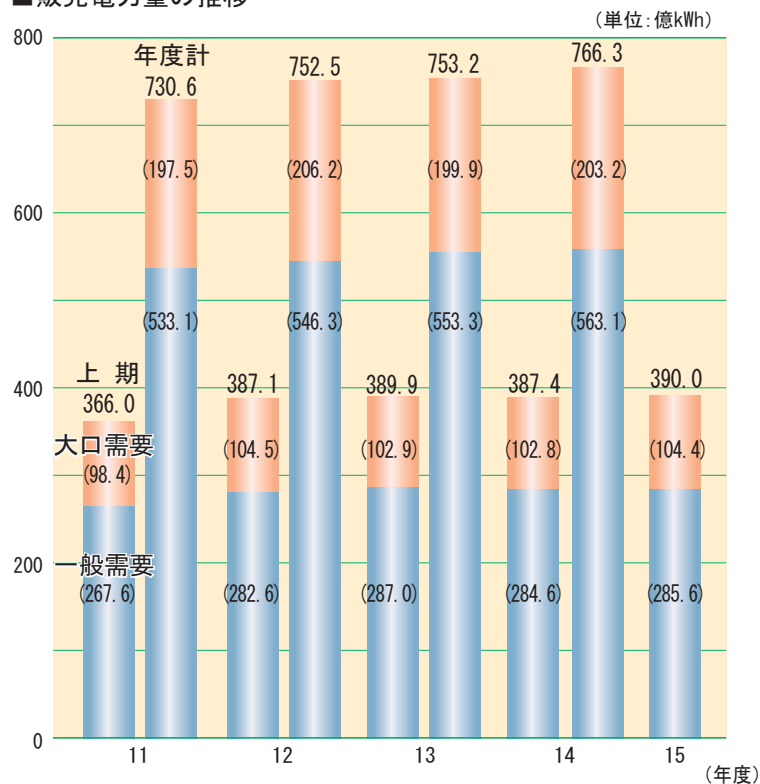
販売の状況

当上半期のわが国経済は、厳しい雇用・所得情勢などを背景に個人消費が低調に推移しましたが、輸出の増加による生産の回復や、民間設備投資の持ち直しなど、回復に向けた明るい動きが見られるようになりました。

このような経済情勢のもとで、当社の販売電力量についてみますと、大口産業用需要は、鉄鋼や機械など主要業種で生産が増加したことにより、前年同期に比べ

1.6%の増加となりました。また、電灯、業務用電力などの一般需要は、冷夏による冷房需要の減少などはありませんでしたが、需要数の増加などから、前年同期に比べ0.4%の増加となりました。この結果、当上半期の総販売電力量は、390億kWhとなり、前年同期に比べ0.7%の増加となりました。

■販売電力量の推移



■大口電力主要業種別実績 (平成15年度上期)

	実績(億kWh)	前年比(%)
電気機械	26.5	102.7
輸送用機械	4.9	100.0
機械計	33.4	102.1
鉄鋼	13.5	106.4
化学	8.6	100.6
セメント	3.9	83.3
窯業土石	5.7	94.3
合計	104.4	101.6

(注)主要業種のみを記載しており、各項目の合計は大口電力合計と一致しない。

収支の状況

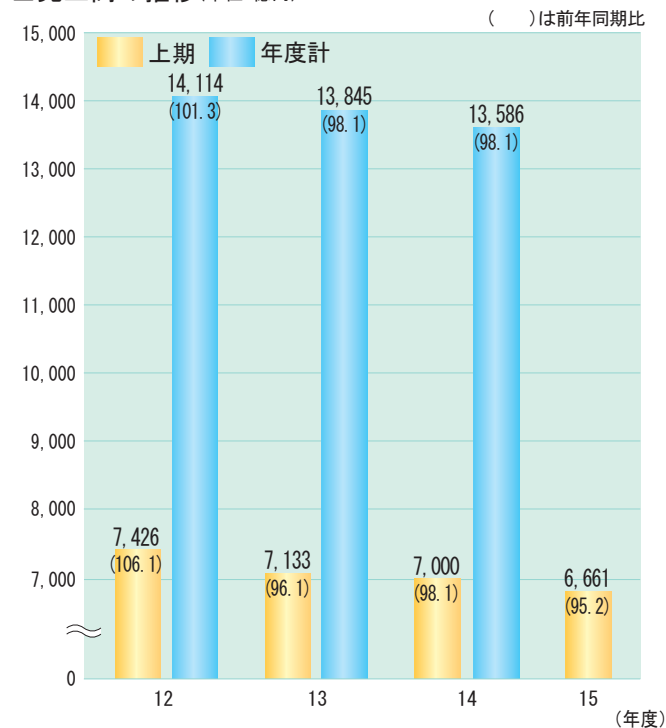
当上半期の収支につきましては、収入面では、販売電力量の増加はありましたが、昨年10月から電気料金の値下げを実施したことなどにより、売上高は前年同期に比べ4.8%減の6,661億円となり、これにその他の収益を加えた中間経常収益は前年同期に比べ4.9%減の6,678億円となりました。一方、支出面では、豊水および原子力の好調な運転による燃料費の減少や、金利の低下による支払利息の軽減などもあり、さらに経営全般

にわたり徹底した効率化を推進しました結果、中間経常費用は前年同期に比べ2.1%減の5,811億円となりました。

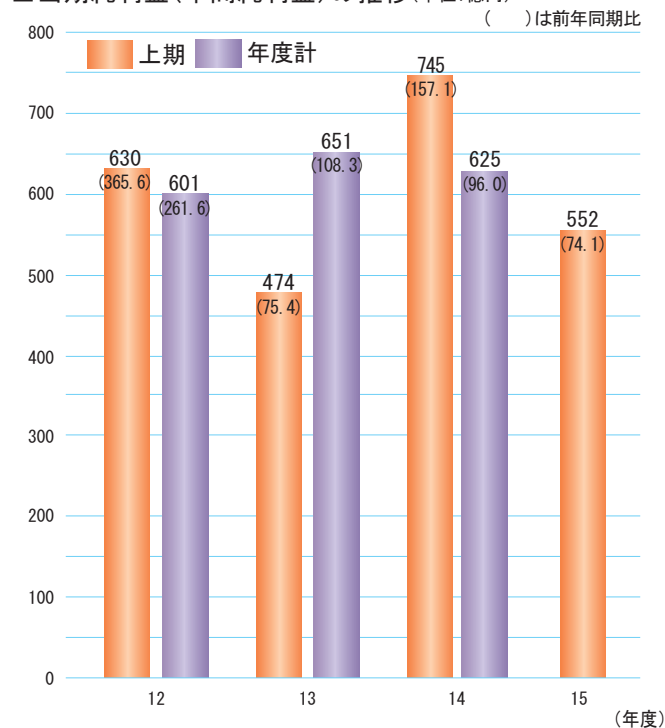
以上により、中間経常利益は前年同期に比べ20.4%減の867億円、中間純利益は前年同期に比べ25.9%減の552億円となりました。

当期の中間配当につきましては、1株につき25円とさせていただきます。

■売上高の推移(単位:億円)

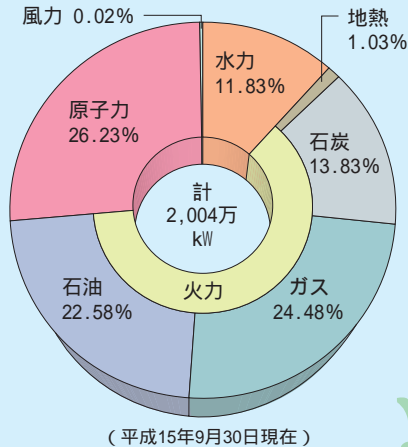


■当期純利益(中間純利益)の推移(単位:億円)

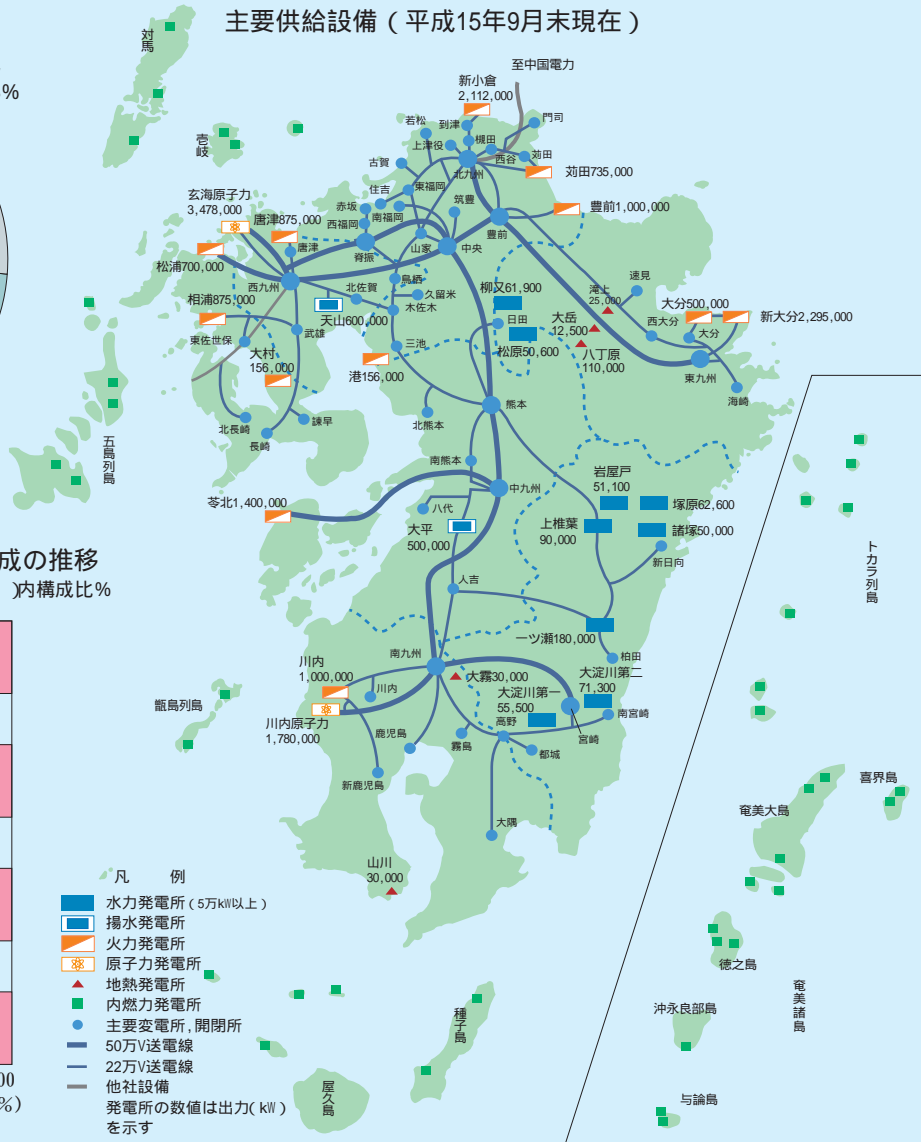


設備の状況

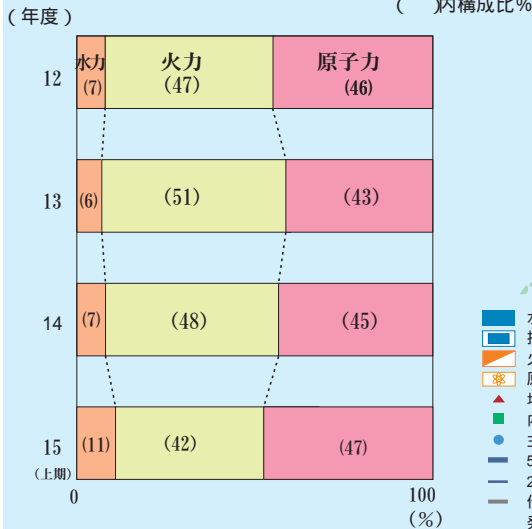
発電設備(出力)の構成



主要供給設備 (平成15年9月末現在)



発電電力量のエネルギー別構成の推移



オール電化住宅普及に取り組んでいます

安全、快適、経済的な「オール電化住宅」をご提案しています

高齢化社会の進展や女性の社会進出などにより、住まいには、安全性や快適性、家事の省力化などがこれまで以上に求められています。

当社は、今後の電力自由化の時代に向けてお客さまから選択されるために、これらのニーズにお応えする「オール電化住宅」をご提案しています。

オール電化住宅普及に向けての当社の取り組み

●機器メーカー、販売店、ハウスメーカー、工務店などとタイアップした「オール電化フェア」などにおいて、オール電化住宅のためのお得な電気料金メニュー「電化deナイト」にご加入された場合の光熱費試算を行っています。

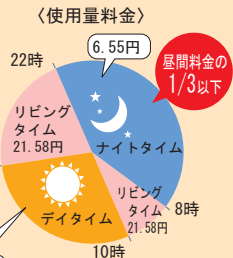


電化フェアでの光熱費試算コーナー

●電化deナイト

料金単価を季節別、時間帯別に分けて設定したメニューです。オール電化住宅など電気温水器（またはエコキュート）をお持ちのお客さまにご利用いただけます。電気のご使用をデイトタイムからリビングタイム、ナイトタイムに移していただくことにより、お得になります。

夏季(7/1~9/30).....32.23円
その他季(10/1~6/30)....26.78円



※金額は1kWhあたりの単価です。
※電灯契約と比べて、昼間は若干割高となります。

●当社のオール電化ショールーム「イリス」において、IHクッキングヒーターを使用した料理体験や、お客さまへの最適な電気料金メニューのご提案などを行っています。

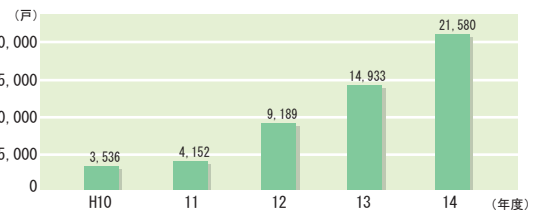


イリスでの料理教室

●当社スタッフ「九電ホームアドバイザー」が公民館やお客さまのお宅へお伺いし、IHクッキングヒーター体験会や“電気のあれこれ”についてご説明を行います。

「オール電化住宅」が増えています

■オール電化住宅年間増加戸数の推移



「オール電化住宅」とは？

安全 快適 経済的

ご家庭の熱源をすべて電気で賅う住宅のことです。具体的には、調理にIHクッキングヒーター（電磁調理器）と給湯に電気温水器（またはエコキュート）を使用する住宅のことをいいます。

●IHクッキングヒーターは、炎がないので、安心。高火力のうえ機能も充実して快適に料理ができます。

●電気温水器（エコキュート）は、夜間の割安な電力を使うのでとても経済的です。

●エコキュート：自然冷媒によるヒートポンプ式の電気給湯器です。



IHクッキングヒーター 電気温水器 エコキュート

川内原子力発電所における 環境調査を開始しました

当社は、川内原子力発電所の増設を検討するための環境調査(「環境アセスメント」、「地質調査」、「気象調査」)を約3年の期間をかけて実施することとしており、本年10月1日に発電所敷地内における地質調査を開始しました。

環境調査の主要諸元

位 置	鹿児島県川内市久見崎町(川内原子力発電所敷地内)
基 数	1基
出 力	150万kW級
原子炉型式	改良型加圧水型軽水炉



川内原子力発電所

環境調査の概要

●環境アセスメント

環境アセスメントは、発電所建設計画の実施が環境にどのような影響を及ぼすかについて予測・評価を行い、環境保全措置を検討するために実施します。

(1)方法書段階 調査に先立ち具体的な調査項目や調査方法等を検討して、方法書を作成した後に、地元縦覧し、皆さまからのご意見をお聞きした上で国の審査を受けます。

(2)現況調査 方法書(国の審査を反映したもの)に基づき文献や現地調査による現況調査を実施します。

(3)準備書段階 現況調査結果に基づき、環境影響の予測・評価を実施して、必要な環境保全措置を検討し準備書を作成した後に、地元縦覧・説明会を実施し、皆さまからのご意見をお聞きした上で国の審査を受けます。

■主な調査項目

項 目	内 容
大気環境	窒素酸化物、騒音・振動等
水 環 境	水温、水質等
海生生物	海藻草類、魚類、プランクトン等
陸生生物	植物、動物、生態系



水環境(水質)の調査



陸生生物(動物)の調査

●地質調査

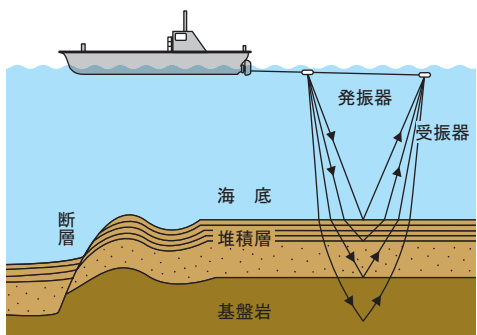
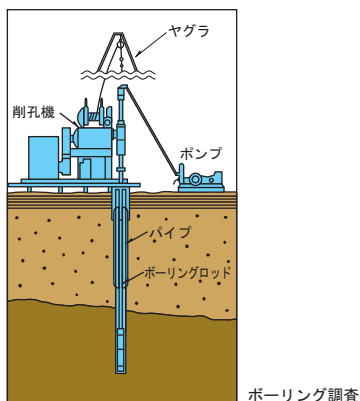
岩盤が原子炉建屋基礎として十分な耐震安定性を有することを確認するために実施します。

(1) 発電所敷地内の調査〔基礎岩盤の詳細な調査〕

ボーリング調査, 試掘坑調査, 岩石・岩盤試験等を実施します。

(2) 発電所敷地外の調査〔広域(陸・海)の活断層調査〕

地表地質調査, 海上音波探査等を実施します。



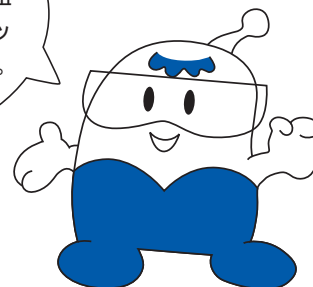
●気象調査

万一の事故等の際に, 発電所敷地やその周辺における放射線量の変化の仕方及び放射線上の安全の確保について検討するため, 敷地やその上空における風向・風速等の調査を実施します。



気球による調査(敷地の上空)

当社は原子力を中核とする
バランスのとれた電源の組
み合わせ(電源のベストミッ
クス)に取り組んでいます。



中間財務諸表

■ 中間貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部		前 期 末 (平成15年3月31日現在)		負 債 及 び 資 本 の 部		前 期 末 (平成15年3月31日現在)	
科 目	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	3,785,266	3,929,942	科 目	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	2,482,159	2,428,575
固 定 資 産	3,733,154	3,785,266	3,929,942	固 定 負 債	2,482,159	2,482,159	2,428,575
電 気 事 業 固 定 資 産	2,947,168	2,913,636		社 債	1,124,761	1,124,761	1,079,761
水 力 発 電 設 備	211,114	217,011		長 期 借 入 金	759,239	759,239	774,368
汽 力 発 電 設 備	473,435	394,202		長 期 未 払 債 務	4,957	4,957	4,153
原 子 力 発 電 設 備	350,227	372,208		関 係 会 社 長 期 債 務	25	25	12
内 燃 力 発 電 設 備	31,284	32,789		退 職 給 付 引 当 金	174,274	174,274	165,051
送 電 設 備	764,384	760,511		使 用 済 核 燃 料 再 処 理 引 当 金	312,667	312,667	301,311
変 電 設 備	320,363	330,062		原 子 力 発 電 施 設 解 体 引 当 金	106,078	106,078	103,863
配 電 設 備	641,705	647,293		日 本 国 際 博 覧 会 出 展 引 当 金	73	73	49
業 務 設 備	146,765	151,613		雑 固 定 負 債	82	82	4
休 止 設 備	2,104	2,160		流 動 負 債	562,549	562,549	704,442
貸 付 設 備	5,782	5,782		1年以内に期限到来の固定負債	125,251	125,251	246,022
附 帯 事 業 固 定 資 産	24,594	21,465		短 期 借 入 金	209,300	209,300	199,300
事 業 外 固 定 資 産	14,584	12,905		コ マ ー シ ャ ル ・ ペ ー パ ー	60,000	60,000	33,000
固 定 資 産 仮 勘 定	205,153	311,298		買 掛 金	19,889	19,889	20,392
建 設 仮 勘 定	204,211	310,674		未 払 金	10,760	10,760	38,442
除 却 仮 勘 定	942	624		未 払 費 用	53,126	53,126	64,894
核 燃 料	228,289	227,988		未 払 税 金	57,668	57,668	55,036
装 荷 核 燃 料	39,816	41,396		預 り 金	928	928	1,155
加 工 中 等 核 燃 料	188,472	186,591		関 係 会 社 短 期 債 務	16,198	16,198	33,356
投 資 そ の 他 の 資 産	313,363	297,970		諸 前 受 金	6,281	6,281	10,873
長 期 投 資	107,522	93,994		雑 流 動 負 債	3,143	3,143	1,968
関 係 会 社 長 期 投 資	113,775	113,508		引 当 金	2,680	2,680	—
長 期 前 払 費 用	3,855	3,031		渴 水 準 備 引 当 金	2,680	2,680	—
繰 延 税 金 資 産	89,155	88,610		(電 気 事 業 法 第 3 6 条)			
貸 倒 引 当 金 (貸 方)	△ 945	△ 1,173		負 債 合 計	3,047,389	3,047,389	3,133,018
流 動 資 産	164,240	144,637		資 本	237,304	237,304	237,304
現 金 及 び 預 金	34,776	32,144		資 本 剰 余 金	31,087	31,087	31,087
売 掛 金	82,163	68,706		資 本 準 備 金	31,087	31,087	31,087
諸 未 収 入 金	4,850	7,661		利 益 剰 余 金	557,058	557,058	513,785
貯 貯 蔵 品	26,699	26,874		利 益 準 備 金	59,326	59,326	59,326
前 払 費 用	1	—		海 外 投 資 等 損 失 準 備 金	22	22	23
関 係 会 社 短 期 債 権	1,700	57		原 子 力 発 電 工 事 償 却 準 備 金	3,733	3,733	7,467
繰 延 税 金 資 産	872	420		原 価 変 動 調 整 積 立 金	100,300	100,300	100,300
繰 延 税 金 資 産	12,444	8,166		別 途 積 立 金	269,000	269,000	227,000
雑 流 動 資 産	1,900	1,761		中 間 (当 期) 未 処 分 利 益	124,675	124,675	119,668
貸 倒 引 当 金 (貸 方)	△ 1,167	△ 1,156		株 式 等 評 価 差 額 金 式	24,997	24,997	15,087
繰 延 税 金 資 産	51	38		株 自 己 株	△ 391	△ 391	△ 341
社 債 発 行 差 金	51	38		資 本 合 計	850,057	850,057	796,923
合 計	3,897,446	3,929,942		合 計	3,897,446	3,897,446	3,929,942

(注) 1 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は定率法によっている。
2 資産の評価の方法
(1)長期投資及び関係会社長期投資のうち有価証券
満期保有目的の債券は償却原価法によっている。
子会社株式及び関連会社株式は移動平均法による原価法によっている。
その他有価証券のうち時価のあるものは、中間決算日の市場価格等に基づき時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し売却原価は移動平均法により算定)時価のないものは移動平均法による原価法によっている。
(2)貯蔵品のうち燃料及び一般貯蔵品
総平均法による原価法によっている。

3 重要な引当金の計上方法
(1)退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当中間期末において発生していると認められる額を計上している。
(2)使用済核燃料再処理引当金は、使用済核燃料再処理費の期末要支払額の60%を計上する方法によっている。
(3)原子力発電施設解体引当金は、原子力発電施設解体費の総見積額を基準とする額を原子力の発電実績に応じて計上している。
4 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

5 記載方法の変更
電気事業会計規則の改正に伴い、当中間期から資産の部の投資等を投資その他の資産に名称変更している。
6 有形固定資産の減価償却累計額 493,882百万円
子会社に対する長期金銭債権 5914百万円
子会社に対する短期金銭債権 407百万円
子会社に対する長期金銭債務 7百万円
子会社に対する短期金銭債務 8,999百万円
子会社の株式 43,251百万円
7 会社の総財産は、社債及び日本政策投資銀行借入金の一般担保に供している。

10 保証債務 183,807百万円
保証予約債務 522百万円
社債の債務履行引受契約に係る偶発債務 124,490百万円
11 使用済核燃料再処理引当金、原子力発電施設解体引当金及び日本国際博覧会出展引当金は、商法施行規則第43条の引当金である。
12 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 24,997百万円

■中間損益計算書

(単位:百万円)

費用の部		当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前年中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	収益の部		当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前年中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)
科	目			科	目		
経常費用の部				経常収益の部			
営	業	費用	552,744	営	業	収益	700,020
電	事	業	547,866	電	事	業	662,963
水	力	発	14,666	電	灯	料	269,532
汽	力	発	112,450	電	力	料	374,274
原	子	力	87,961	地	帯	間	9,340
内	燃	間	10,188	他	社	販	2,412
地	他	購	75	託	送	電	2,436
送	社	購	49,211	電	氣	事	4,692
変	配	販	35,708	貸	付	設	274
販	電	電	25,014				
休	止	設	76,239				
貸	付	設	30,112				
一	般	管	220				
電	源	開	37				
事	力	費	80,461				
電	力	費	17,510				
附	帯	事	8,140				
蓄	熱	事	△ 133				
光	ファイバ	心	4,878				
ガ	ス	供	1,312				
ソ	他	附	2,140				
営	業	外	1,283				
財	業	務	141				
			(113,422)				
			28,357				
			25,912				
			25,661				
			251				
			2,444				
			295				
			2,149				
			581,102				
			86,732				
			2,680				
			2,680				
			-				
			-				
			84,051				
			28,789				
			39,211				
			△ 10,422				
			55,262				
			69,413				
			124,675				
			559,720				
			556,172				
			14,788				
			115,229				
			95,385				
			10,046				
			74				
			51,776				
			36,364				
			24,033				
			79,626				
			32,158				
			149				
			37				
			70,854				
			17,355				
			8,532				
			△ 240				
			3,548				
			1,082				
			1,547				
			803				
			113				
			(140,299)				
			33,940				
			32,013				
			31,678				
			335				
			1,926				
			20				
			1,906				
			593,660				
			108,893				
			-				
			-				
			15,424				
			15,424				
			116,577				
			41,982				
			46,825				
			△ 4,843				
			74,595				
			68,975				
			143,570				
			666,166				
			662,963				
			269,532				
			374,274				
			9,340				
			2,412				
			2,436				
			4,692				
			274				
			700,020				
			697,402				
			281,923				
			395,278				
			10,759				
			1,931				
			2,226				
			5,008				
			274				
			3,203				
			1,043				
			626				
			1,301				
			232				
			1,667				
			1,001				
			883				
			118				
			665				
			158				
			507				
			667,834				
			702,554				
			-				
			-				
			23,109				
			23,109				

(注) 1 記載方法の変更

電気事業会計規則の改正に伴い、当中間期から税引前中間利益を税引前中間純利益に、中間利益を中間純利益にそれぞれ名称変更している。

2 子会社との営業取引による取引高の総額

費用 45,710百万円、収益 3,402百万円

子会社との営業取引以外の取引高の総額

94百万円

3 1株当たりの中間純利益 116円59銭

中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

資 産 の 部		前期末 (平成15年3月31日現在)	負債、少数株主持分及び資本の部		前期末 (平成15年3月31日現在)
科 目	当中間期末 (平成15年9月30日現在)		科 目	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	
固 定 資 産	39,542	40,122	固 定 負 債	26,225	25,784
電気事業固定資産	29,047	28,803	社 債	11,243	10,793
水力発電設備	2,101	2,161	長期借入金	8,779	9,053
火力発電設備	4,661	3,896	流 動 負 債	6,441	7,777
原子力発電設備	3,471	3,690	1年以内に期限 到来の固定負債	1,552	2,774
送電設備	7,573	7,567	短期借入金	2,267	2,085
変電設備	3,156	3,257	未払税金	621	576
配電設備	6,254	6,339	特別法上の引当金	26	—
その他の固定資産	3,344	3,313	負 債 合 計	32,693	33,561
固定資産仮勘定	2,075	3,119	少 数 株 主 持 分	84	81
核 燃	2,282	2,279	資 本 金	2,373	2,373
投資その他の資産	2,791	2,605	資 本 剰 余 金	310	310
流 動 資 産	2,195	1,922	利 益 剰 余 金	6,029	5,569
現金及び預金	440	444	その他有価証券評価差額金	254	154
受取手形及び売掛金	922	799	自 己 株 式	△ 6	△ 5
たな卸資産	476	447	資 本 合 計	8,961	8,402
繰 延 資 産	0	0	合 計	41,738	42,045
合 計	41,738	42,045			

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 52,230億円

■ 中間連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

費 用 の 部		前年中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	収 益 の 部		前年中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)
科 目	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)		科 目	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	
営 業 費 用	5,817	5,863	営 業 収 益	6,980	7,293
電気事業営業費用	5,451	5,543	電気事業営業収益	6,618	6,962
その他事業営業費用	365	319	その他事業営業収益	362	330
営 業 利 益	(1,163)	(1,430)	営 業 外 収 益	30	28
営 業 外 費 用	308	420	中 間 経 常 収 益 合 計	7,011	7,322
中間経常費用合計	6,125	6,283	特 別 利 益	—	231
中間経常利益	886	1,038			
濁水準備金引当又は取崩し	26	—			
税金等調整前中間純利益	859	1,269			
法人税、住民税及び事業税	421	481			
法人税等調整額	△ 115	△ 52			
少数株主利益(損失)	1	△ 1			
中 間 純 利 益	552	842			

(注) 1株当たりの中間純利益 116円63銭

■中間連結剰余金計算書の要旨

(単位:億円)

科 目	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前年中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	310	310
資本剰余金中間期末残高	310	310
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	5,569	5,190
利益剰余金増加高	600	842
中間純利益	552	842
利益剰余金減少高	140	145
配当金	118	142
利益剰余金中間期末残高	6,029	5,887

■中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科 目	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前年中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,826	2,375
税金等調整前中間純利益	859	1,269
減価償却費	1,336	1,307
法人税等の支払額	△ 341	△ 126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,083	△ 1,169
固定資産の取得による支出	△ 1,115	△ 1,441
投融資の回収による収入	14	271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 784	△ 938
社債の発行による収入	597	896
社債の償還による支出	△ 1,262	△ 365
長期借入れによる収入	209	194
長期借入金の返済による支出	△ 603	△ 526
短期借入金の純増減額	123	△ 423
コマーシャル・ペーパーの純増減額	270	△ 570
配当金の支払額	△ 118	△ 142
現金及び現金同等物の増減額	△ 42	267
現金及び現金同等物の期首残高	454	531
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	445	798

■連結の範囲

(平成15年9月30日現在)

連 結 子 会 社 19 社
九州通信ネットワーク(株)
(株)キューデン・インターナショナル※
大分エル・エヌ・ジー(株)
西日本環境エネルギー(株)
北九州エル・エヌ・ジー(株)
(株)キャピタル・キューデン
九州林産(株)※
(株)キューデンインフォコム※
(株)電気ビル
ニシム電子工業(株)
(株)キューキ
西日本空輸(株)※
西日本プラント工業(株)
九電産業(株)
九電情報サービス(株)
西日本技術開発(株)
森林都市(株)
九州計装エンジニアリング(株)※
光洋電器工業(株)※
持 分 法 適 用 会 社 23 社
(株)九電工 ほか22社

(注) 当中間期より連結子会社6社(※)及び持分法適用会社17社の計23社を新たに連結決算の対象としている。

心の旅

九州

in

熊本県天草町・河浦町



今から800年ほど昔、白鷺がこの湯で傷を癒したことから、別名「白鷺温泉」とも呼ばれる下田温泉

海原の壮大な夕焼けに クリシタンの鐘の音が 今日も響いて溶けてゆく

かつて、海の向こうから宣教師たちが渡ってきた天草の島。彼らの教えを受けた敬虔なクリシタンの人々は、その後の禁教令で厳しい歴史を歩んできた。明治時代、そんなクリシタン浪漫に導かれてこの島を歩いた5人の若者たちがいた…。

九州の西端・天草下島の下田温泉。800年の歴史を持つというこの温泉は、泉質の良さと共に全国から旅人の心を誘ってやまない大きな「宝」を持っている。

毎日夕刻。温泉街の真正面の水平線を染めて沈んでいく壮大な夕陽である。空は茜から黄金へと変化し、雲は絢爛と輝き、その雲を引き連れてゆっくりと海へ消えていく。「日本の夕陽百選」にも選ばれたこの夕焼けは、何百年、何千年も変わらない光景だ。

今から400年以上前、この地にキリスト教を伝えた宣教師たちも、おそらくこの夕映えに心奪

われたことだろう。



天草西海岸から見る絶景の夕陽。左は現在の「大江天主堂」、右は明治期の古い天主堂（表に立つのはガルニエ神父）

られたことだろう。

フランシスコ・ザビエルによって日本にキリスト教が伝来したのは天文18(1549)年。その17年後には、ここ天草にもポルトガル人宣教師ルイス・デ・アルメイダが訪れて20年近く布教に努め、キリスト教の教えはこの地で急速に広まっていった。

宣教師たちは、宗教と共に様々な南蛮文化をここにもたらしした。河内浦(現河浦町)には「コレジヨ」と呼ばれる大神学校が建てられ、国内はもとより海外からも青年たちが集まって、神学、ラテン語、天文学、哲学、音楽などを学んでいた。かの天正遣欧使節の少年たちも、帰国後にここで学んでいる。彼らがヨーロッパから持ち帰ったグーテンベルク印刷機は、日本ではもちろん、世界でも画期的なもので、これを使って教材や布教のための書物が数多く印刷された。そのころヨーロッパでさえ出版部数は300部から500部だったという時代

ヨーロッパから持ち帰られたグーテンベルク印刷機の複製が「天草コレジヨ館」に展示されている





に、天草では1,500部が印刷されたというから、まさに世界最先端の出版事業がここで行われていたのである。

しかし、この栄光の時代は長く続かない。天正15(1587)年、豊臣秀吉による禁教令が出されると、全国で厳しいキリシタン迫害が始まった。天草でも宣教師たちは追放され、踏み絵や宗門改めなどの弾圧が島民を苦しめた。彼らは表向きには従いながらも、ひそかに隠れキリシタンとして網の目を潜り抜けて生きていた。長い暗闇が明けて、ようやく禁教令が解かれる明治6(1873)年まで..。

明治40(1907)年。5人の若者たちが東京から長旅をして、ここ天草にたどり着いた。「新詩社」を主宰し、すでに文学者として名をはせていた与謝野鉄幹(35)をリーダーに、まだ無名に近い学生であった北原白秋(23)、木下空太郎(23)、平野万里(23)、吉井勇(22) この5人の旅が、『五足の靴』と呼ばれるのである。旅の模様を5人交互に書き記してはそれを直ちに

前列中央が与謝野鉄幹、その前が平野万里、その右が吉井勇、その後ろが木下空太郎、後列中央の学生服が北原白秋。5人の若き旅人が歩いた山道は遊歩道として整備された



文学界の主流を占めていたアララギ派の現実主義に飽き足りない思いを抱いていた彼らには、幻想と浪漫の香りあふれる南蛮文化への熱い憧れがあったのだ。その原点の地、天草へ..。

本州から九州へと旅を続け、長崎の茂木港からは、もう天草の島が見える。船で富岡港に渡り、あとは山道を大江まで歩くのである。

私たちも、彼ら^{あじが}がその時歩いた道をたどってみることができる。今でこそ紺碧の海沿いを走る国道389号線があるが、当時はそんな道はなく、もっと草や木々に覆われた険しい山辺の道であった。最近この一部が「五足の靴文学遊歩道」として整備され、歩きやすくなっている。

富岡港から天草町の大江まで約8里。とはいえ、くねくねと細く高低もある山の道。上から覆いかぶさる木の枝を払い、ぬれた落ち葉に足を滑らせながら、「ある処は川が路である。点々たる石を伝ふて辛うじて進む」とあり、時には「紅き地に黒き斑^{まだら}を物凄^{すご}く染め出したし^{しまへび}縞蛇^{がま}が犬の頭ほどの壘^のを呑みかけている」場面



彼らが宿泊した大江の宿「高砂屋」は、今も旅館として健在だ

電信で東京に送り、このタイトルで「東京二六新聞」の記事にするという、現代でも驚くような同時進行連載の離れ業であった(旅行は7月28日~8月27

日。連載は8月7日~9月10日)

5人の旅の最大の目的は、天草町の「大江天主堂」で15年近く布教に努めているガルニエ神父に会うことだった。東京で詩歌の勉強に励みながら、そのころ

近代文学の中に 大きな足跡を残した天草の風土

に出くわした、とも『五足の靴』に書き残している。

そんな困難な山道にも、時に疲れを忘れさせるような光景が現れ、彼らを和ませる。木々が途切れて、右手に壮大な海が開けるのだ。一瞬足をとどめて、涼しく磯の香りあふれる空気を胸深く吸い込んだことだろう。

早く、一瞬も早くガルニエ神父に会いたい彼らは、何度か道に迷いながらも、夜遅くなってようやく大江の村にたどり着くのである。

今、天草の海を見晴らす丘に立つ大江天主堂は、青い空に白く輝く美しい教会である。これは、清貧の中で布教に尽くしたガルニエ神父が、こつこつと貯めた私財を投じて昭和8(1933)年に建てたものだ。5人の若き旅人たちが訪れた明治40年には、まだ粗末な古びた木造の教会であった。

しかし、白い髭に覆われた小柄なガルニエ神父の微笑は、温かく彼らを迎え入れた。そして彼らに、長い隠れキリシタンの話や天草の風土の話語り聞かせたのだった。

私欲をすべて捨てて信仰に尽くす神父の姿に5人は心打たれ、去りがたい別れの言葉を交わして天草を離れる。そして東京へと戻るのだが、このひとときの南蛮文化との出会いが、その後の彼らの詩作に大きな影響を与えることになる。

北原白秋は、旅の翌々年に処女詩集『邪宗門』を出版する。それは、従来の日本の詩歌にはなかったロマンチズムと異国情緒にあふれていた。

「白ひけるは、
あな、わが^{おとめ}少女、
あまくさ^{あまくさ}みつ^{みつ}天草の蜜の少女よ。

天草の多大な影響を受けて、白秋が書き上げた『邪宗門』の初版本



大江天主堂とほぼ同じ時期に建った「崎津天主堂」は、漁村の風景に一つましく溶け込んでいる

な^{からず}汝が髪は烏のごとく、
汝が唇は木の実の紅に没薬の汁
滴らす。

わが^{はと}鴿よ、わが友よ、いざともに
擁かまし。

くゆり^{ぶどう}濃き葡萄酒は

ぎやまん^{つぼ}玻璃の壺に盛るべく... (『邪宗門』より)

この世の現実から想像の羽をはばたかせ、幻想の天空を自由に飛翔する。白秋たちの新しい詩は文学界に驚きと新風を吹き込んだ。木下空太郎も戯曲『天草四郎』などを送り出し、吉井勇も数々の歌集に異国のリズムを織り込んで発表している。

彼らの旅を彩ったキリシタン文化や遺跡の数々。それは今も、天草町の至る所で、草むらで、穏やかな日光を浴びている。墓所を歩けば、苔むした墓石の上ののる石造りのクルス。側面にはヨハネ又次郎 大正10年没などの文字が、かすかに読める。

今では信者たちも高齢の方が多くなったというが、それでも目の前の青い海原に船を漕ぎ出す漁師たちの、その漁船の操縦席に、小さな十字架とマリア像が置いてあったりする。

はるか水平線まで遮るもののないこの海は、昔も今も豊かな海の幸を浜の人々に与え続けてくれた。下田温泉を始め近隣の宿でも、鯛やカンパチ、伊勢海老、ヒラメなどが食膳をにぎわせる。この海の幸に、背後の山の幸に感謝しながら、天草の人々は暮らしてきたのだろう。

一日が暮れる夕映えのとき。大江天主堂を辞去する私たちの横を、老夫婦らしい2人連れが緩い坂を登っていった。手に光る鎖が見えた。あれは、十字架だったのかも知れない。夕べの祈りに訪れたのかも知れない。



天草を囲む海から豊富に揚がる魚介類で、各宿では豪華な食事が整えられる



環境問題への取り組みは、エネルギー事業者である当社にとって大きな公益的課題であり、今後も積極的な環境活動を展開してまいります。このページで当社の環境活動に関する話題をご紹介しますながら、株主・投資家の皆さまも一緒に環境問題についてお考えいただければと思います。

全社での「ゴミゼロ」実現を目指した取り組み

日本で 1年間に発生するゴミは約 4億6,000万トン。つまり1人あたり毎年およそ4トンのゴミを出している計算になります(1人あたり1日およそ10kg)。

このままでは地球上の資源の枯渇や、ゴミ処分場の確保が困難になることが予想されます。

このため行政は「循環型社会の形成」を目指し、「循環型社会形成推進基本法」など関係法令の整備や「循環型社会形成推進基本計画」の策定など、循環型社会のしくみ作りを進めてきました。また、産業界はそれぞれの業界毎にリサイクルの自主目標などを掲げ、目標達成に取り組むとともに、リサイクルしやすい製品の開発、グリーン調達の実進なども進めています。

九州電力の取り組み

事業活動から発生するゴミを「ゼロ」にする「ゼロエミッション」という目標に挑戦しています。

今回はそのうち、特に日常的に事業所から排出される紙ゴミ、ビン、缶、ペットボトルや生ゴミなど、一般廃棄物のゼロエミッションに向けた取り組みをご紹介します。

取り組みの基本は「3R」

「ゴミゼロ」を達成するための取り組みの基本原則は「3R」の推進です。3Rは「ゴミを出さない (Reduce) 繰り返し使う (Reuse) 、リサイクルをする (Recycle)」です。

ゴミを出さない (Reduce)

オフィスでは、パソコンでの文書閲覧によりペーパーレス化を図る、両面コピーを励行する、マイカップの利用により紙コップの使用を控える、などの取り組みを行っています。

繰り返し使う (Reuse)

古紙の裏面やファイルなどの事務用品の再利用に努めています。プリンターのトナーカートリッジには再利用可能なものを採用しています。

リサイクルする (Recycle)

それでも発生する古紙については、ほぼ100%リサイクルしています。社内で回収した古紙を原料としたリサイクル製品を積極的に購入・使用しています。

古紙以外のゴミについてもリサイクルに向けた取り組みを進めています。

ビン、缶、ペットボトルの分別回収を徹底しています。

古くなった制服を回収し、リサイクルしています。



回収した古紙で作った製品

リサイクル事業への取り組み

九電グループでは、循環型社会形成に向けた新規事業にも取り組んでいます。(株)ジェイ・リライツは、使用済み蛍光管をリサイクルする全国でも珍しい会社です。九州環境マネジメント(株)は、万全なセキュリティのもと、リサイクル回収に不向きであった機密文書をも回収、溶解処理しリサイクルする会社です。

らこんで NETWORK



南阿蘇鉄道 白川第一橋梁(熊本県阿蘇郡長陽村)
熊本県 松本忠雄

なんでも大募集 星

次号のテーマ

川柳、俳句、短歌、写真、ハガキ絵など、このテーマに沿った作品なら何でも結構です。ふるってご応募ください。その際、ご応募分野(川柳、俳句ほか)を明記してください。

たくさんのご応募ありがとうございました。らこんで倶楽部

Vol.15の
テーマ
「橋」

【川柳】
独り身の日を思い出す思案橋

長崎県 一ノ瀬人二

吊り橋へ激しく友の手話動く

愛知県 尾畑古留人

吊り橋を往きだけと決め渡り切る

神奈川県 園田節子

匠の技今も生きてる通潤橋

福岡県 新原芳幸

橋はもう甘い囁き聞きあいた

愛知県 舟橋義一

バブル期に渡った橋は虹だった

島根県 豊後寿敏

【俳句】

鶺鴒の渡せる橋や逢瀬かな

福岡県 志村美子

赤蜻蛉棹舟くぐる橋いくつ

千葉県 下谷清子

橋下の鯉もみあいてさき濁り

兵庫県 福島 武

石橋は村のシンボル初河鹿

大分県 松岡芳子

木、石、鉄かはる橋観て喜寿迎ふ

新潟県 松永新哉

応募方法

下の宛先に、作品(応募分野明記)と、住所・氏名・電話番号「らこんで」についてのご意見・ご感想をお書きになってお送りください。

お送り先
〒810-8720
福岡市中央区渡辺通二丁目 番82号
九州電力株式会社
総務部 会社法務グループ
「らこんで倶楽部」係

※月末日必着
作品を掲載させていただいた方に記念品を進呈いたします。
ご応募いただいたハガキ等はご返却いたしません。

【短歌】

登山道の小さき橋に湧き水の
光となりて音のはげしき

愛知県 杉本 博

公園の池にかかれる太鼓橋
空蒼々と風薫るなり

埼玉県 山口藤一

選評

人生は旅路、ぶらりと訪れたあの町この町に、
ここに残る橋が蘇ります。橋ができて目も眠
ったことがない、こんな一句を書き添えた柳友
がいました。思案橋、吊り橋、通潤橋に河童橋、
沢山の橋ありがとごこいました。

鷹野 青鳥

選者

川柳・俳句福岡川柳作家協会会長 鷹野 青鳥
短歌 福岡県歌人会 会長 山笠井 喜美枝

株式メモ

株券をなくされたときのお手続きについて

株券を盗難、紛失、焼失などにより喪失された場合、中央三井信託銀行(当社の名義書換代理人)に株券喪失登録を申請していただき、異議申し出がなく年間経過すればその株券は無効になり再発行を受けられます。

手数料につきましては、お申し出 件につき8,600円、株券 枚につき500円です。

ご提出していただくもの

- 1 株券喪失登録申請書
- 2 株券喪失の事実を証明する書類(警察署、消防署などが発行する証明書)
- 3 申請に関する理由書(紛失等により、2の証明書がない場合)

他人名義の株券を紛失した場合(上記以外にも自分が占有していたことを証明する書類が必要)です。
お問い合わせ先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 ☎(03)3323-7111

役員

取締役及び監査役

代表取締役会長	鎌田 迪 貞	常務取締役	平塚 強 一
代表取締役社長	松尾 新 吾	取 締 役	武田 守 正
代表取締役副社長	芦塚 日出 美	取 締 役	一ノ瀬 秋 久
代表取締役副社長	奥井 洋 輝	取 締 役	小田原 智 一
代表取締役副社長	松本 茂 彦	取 締 役	水口 敬 司
代表取締役副社長	佐藤 光 昭		
常務取締役	今村 毅	常任監査役	上田 憲 幸
常務取締役	松下 清 彦	常任監査役	古賀 武 司
常務取締役	橋田 紘 一	監 査 役	三小田 元
常務取締役	田中 征 夫	監 査 役	富澤 義 敬
常務取締役	石井 拓	監 査 役	西村 喜 代子
常務取締役	樋口 隆 啓	監 査 役	中里 公 哉

執行役員

常務執行役員	今村 毅	執行役員	片山 修 造
常務執行役員	松下 清 彦	執行役員	貫 正 義
常務執行役員	樋口 隆 啓	執行役員	眞部 利 應
常務執行役員	平塚 強 一	執行役員	日名子 泰 通
執行役員	緒方 誠 一	執行役員	谷口 碩
執行役員	蔵野 八 郎	執行役員	古澤 邦 夫
執行役員	横江 信 義	執行役員	深堀 慶 憲
執行役員	清田 均		
執行役員	樋口 勝 彦		
執行役員	惣福 脇 亨		
執行役員	石中 富 雄		
執行役員	段上 守		

(平成15年9月30日現在)

株主メモ

決 算 期	3月31日
定時株主総会	6月
基 準 日	定時株主総会利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	福岡市において発行する西日本新聞
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社全国各支店 日本証券代行株式会社本店及び全国各支店 当社本店 上記の外、当社支店、東京支社及び営業所(一部の営業所を除く。)でもお取り次ぎいたします。

会社の概要

設 立 年 月 日	昭和26年5月1日
発行する株式の総数	10億株
発行済株式の総数	4億7,418万3,951株
資 本 の 額	2,373億486万3,699円
従 業 員 数	13,865名
主 要 事 業 所	
本 店	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 ☎(092)761-3031
支 店	北九州・福岡・佐賀・長崎・大分・熊本 宮崎・鹿児島
支 社	東京

(平成15年9月30日現在)

郵便物送付先電話お問い合わせ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)証券代行事務センター) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 ☎(03)3323-7111